

2022年度 産業向け財・サービスの内外価格調査

令和5年4月28日
経済産業省
経済産業政策局調査課

経済産業省では、我が国の価格構造の実態把握の一環として、1993 年以降、産業向け財・サービスの内外価格調査を行っており、以下のとおり 2022 年度調査の結果を取りまとめた。

1. 結果の概要

- 2022 年度調査における内外価格差は、米国 1.04 倍、中国 2.01 倍となった。米国との 1.04 倍の内外価格差は、日本での価格が円換算した米国での価格の 1.04 倍になり、日本での価格の方が高いことを意味している。(以下の内外価格差の倍数は、同様の意味である。) 2か国とも日本の価格が円換算した海外での価格を上回っている。(以下、単に「上回っている」、逆の場合は「下回っている」という。)
- 「工業製品等」と「産業向けサービス」の内外価格差を比較(産業向けサービス／工業製品等)すると、米国においては産業向けサービスが工業製品等を上回っている。中国においても産業向けサービスが工業製品等を上回っている。

2. 調査の概要

- (1) 調査対象国 : 米国、中国
- (2) 調査対象品目 : 工業製品等 185 品目、産業向けサービス 45 品目
- (3) 調査時点 : 2022 年 7～9 月
- (4) 調査価格 : 需要家渡し価格(一部、工場出荷価格等)
- (5) 為替レート : 2022 年 7 月～9 月における各国の平均為替レート

為替レート出所

・対米国	1ドル	=	138.43 円 (Federal Reserve Board)
・対中国	1元	=	20.21 円 (State Administration of Foreign Exchange)

3. 調査結果

(1)内外価格差の現状

ー内外価格差は、米国が 1.04 倍、中国が 2.01 倍ー

総合の内外価格差は、米国 1.04 倍、中国 2.01 倍となった。

また、「工業製品等」と「産業向けサービス」の内外価格差を比較してみると、米国、中国ともに産業向けサービスが工業製品等を上回った。

表1 分野別・業種別の内外価格差

		米 国	中 国
総 合		1.04	2.01
	工 業 製 品 等	1.00	1.61
	素 材	0.90	1.61
	加 工 ・ 組 立	0.83	1.94
	エ ネ ル ギ ー	1.31	1.29
	産 業 向 け サ ー ビ ス	1.12	2.69
産 業 向 け サ ー ビ ス ／ 工 業 製 品 等 (倍)		1.12	1.67

$$\text{内外価格差} = \frac{\text{日本での価格（円）}}{\text{海外での価格（現地通貨）} \times \text{為替レート（円／現地通貨）}}$$

(2)購買力平価の現状

－購買力平価は、対米国が 144.30 円／ドル、対中国が 40.56 円／元－

総合の購買力平価は、対米国が 144.30 円／ドル、対中国が 40.56 円／元となった。

また、分野別にみると、「工業製品等」の対米国の購買力平価は 138.05 円／ドル、対中国の購買力平価は 32.45 円／元であり、「産業向けサービス」の対米国の購買力平価は 154.93 円／ドル、対中国の購買力平価は 54.34 円／元である。

表2 分野別・業種別の購買力平価

(単位:円／現地通貨)

		米 国	中 国
総 合		144.30	40.56
	工 業 製 品 等	138.05	32.45
	素 材	125.11	32.60
	加 工 ・ 組 立	114.66	39.26
	エ ネ ル ギ ー	181.51	26.01
	産 業 向 け サ ー ビ ス	154.93	54.34
2022年7月～9月における 各国の平均為替レート		138.43	20.21

(注)現地通貨は、米国:ドル、中国:元。

$$\text{購買力平価} = \frac{\text{日本での価格 (円)}}{\text{海外での価格 (現地通貨)}}$$

(3)内外価格差の推移(総合)

－総合の内外価格差は、米国、中国ともに縮小－

総合の内外価格差を前回と比較すると、米国に対しては▲0.17 ポイント縮小、中国に対しては▲0.17 ポイント縮小となった。

購買力平価は米国、中国ともに減価となった。

表3 内外価格差、購買力平価、為替レートの前回比較

内外価格差（総合）	（倍）	
	米国	中国
2021年度	1.20	2.06
2022年度	1.03	1.89
差	▲ 0.17	▲ 0.17

購買力平価（総合）（円／現地通貨）		
	米国	中国
2021年度	132.12	35.09
2022年度	141.89	38.14

為替レート		
	米国 円／ドル	中国 円／元
2021年度	110.08	17.02
2022年度	138.43	20.21

注) 2016 年度から 2022 年度の 5 回の調査において、各年度共通して価格データを入手できた品目を対象とし、さらにその間に品目のスペック内容が大きく変わったものについては、時系列比較の上で対象から除外することを原則としているため、「表3 内外価格差、購買力平価、為替レートの前回比較」において説明する内外価格差及び購買力平価の数値は、必ずしも「表1 分野別・業種別の内外価格差」及び「表2 分野別・業種別の購買力平価」の数値とは一致しない。

(4)内外価格差の推移(工業製品等)

ー工業製品等の内外価格差は、2 か国ともに縮小ー

工業製品等の内外価格差を前回と比較すると、米国は▲0.20 ポイント縮小した。中国は▲0.09 ポイント縮小した。

また、購買力平価は、米国、中国ともに減価となった。

表4 工業製品等の内外価格差、購買力平価の前回比較

内外価格差（総合）		（倍）
	米国	中国
2021年度	1.20	1.65
2022年度	1.00	1.56
差	▲ 0.20	▲ 0.09

購買力平価（総合）（円／現地通貨）		
	米国	中国
2021年度	131.86	28.07
2022年度	138.72	31.54

(5)内外価格差の推移(産業向けサービス)

ー産業向けサービスの内外価格差は、米国、中国ともに縮小ー

産業向けサービスの内外価格差を前回と比較すると、米国は▲0.14 ポイント縮小した。中国は▲0.32 ポイント縮小した。

購買力平価は、米国、中国ともに減価となった。

表5 産業向けサービスの内外価格差、購買力平価の前回比較

内外価格差（総合）		（倍）
	米国	中国
2021年度	1.20	2.76
2022年度	1.06	2.44
差	▲ 0.14	▲ 0.32

購買力平価（総合）（円／現地通貨）		
	米国	中国
2021年度	132.55	47.04
2022年度	147.26	49.35